

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田原市栄町1丁目計画 新築工事	階数	地上14F
建設地	小田原市栄町一丁目65-1他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	230人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2017年8月19日
敷地面積	924㎡	作成者	株式会社スタイルックス
建築面積	463㎡	確認日	2017年8月19日
延床面積	4,656㎡	確認者	株式会社スタイルックス



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
交差点に面した計画地北西角には、地域のシンボルツリーになるような高木を植え、建物の北西角にあたる住戸にコーナーサッシを採用し、視認性を高めることで計画地・計画建物全体が地域のシンボルとなるような計画である。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
専用部分について、遮音性に配慮し、高い昼光率を確保するなど、室内環境の向上に努めている。	階高にゆとりを持たせた設計とし、住宅性能評価における劣化対策等級3としている。また、空調給排水配管の更新年数に配慮し、建物のサービス性能に配慮した設計としている。	標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
潜熱回収型ガス給湯器の採用等、建物の省エネ性能を高めた設計としている。	標準的な配慮を行っている。	標準的な配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される